

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010090

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 維持事業であるため、毎年実施する事業である。 (前期総合計画から拡充～雇用人数1人増による事業費増)
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	B		
単位施策	1	道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	町道等除草作業他環境保全事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	除草道路延長		関係課	#N/A		
事業目標	184.5km		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	○道路等除草作業 ・雇用人数～3人(平成27年度～4人) ・雇用期間～5月～10月(6カ月間)	道路等除草作業 ・雇用人数 3人 ・5月～10月(6カ月間)	道路等除草作業 ・雇用人数 3人 ・5月～10月(6カ月間)	道路等除草作業 ・雇用人数 3人 ・5月～10月(6カ月間)	道路等除草作業 ・雇用人数 3人 ・5月～10月(6カ月間)	道路等除草作業 ・雇用人数 3人 ・5月～10月(6カ月間)
	事業費(千円)	30,000	4,500	5,750	6,350	6,700
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	30,000	4,500	5,750	6,350	6,700	
実績事業費	事業費(千円)	16,236	4,410	5,616	6,210	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	16,236	4,410	5,616	6,210		
関連事項	特定財源の名称		(実施内容等) 道路等除草作業 ・雇用人数 3人 ・6月～10月(5カ月間) ・除草作業道路延長L=31.4km	(実施内容等) 道路等除草作業 ・雇用人数 3人 ・6月～10月(5カ月間) ・除草作業道路延長L=36.9km	(実施内容等) 道路等除草作業 ・雇用人数 3人 ・5月～10月(6カ月間) ・除草作業道路延長L=36.9km	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 B-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	36.9km	36.9km	36.9km	36.9km
		年度達成率		98%	98%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率		15%	33%	54%
	備考欄					

事業名	町道等除草作業他環境保全事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	山崎佳之
		評価者 作成者 職氏名	建設水道課長補佐	田原慎也

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	除草道路延長	
【抱える課題やニーズは】	町道等の環境と雑草による視程障害	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町道等に生育する雑草の除去と道路環境の保全	① 除草道路延長/除草道路延長	目標年度	平成27年度
			目標値	36.9 km
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	雑草のない道路環境	②	実績値	36.9 km
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間委託により実施	入札により民間業者に委託し、町道等に生育している雑草の除草、草刈作業を実施した。	目標年度	平成27年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町道に生育している雑草による視程障害の回避や道路の環境保全是街が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、雑草による視程障害のない道路環境が保全されたこと、
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	民間業者に委託したことにより、事業費を抑制できたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	雑草による視程障害の回避や道路環境が保全されたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
雑草による視程障害を回避するためには、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
雑草による視程障害の回避や道路環境保全のためには、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止